

技術支援活動

【概要】

①技術支援

会員の皆様が抱える技術的な疑問、悩みに対して、鉄道技術推進センターでは相談窓口を設け、「電話問合せ」「現地調査」「訪問アドバイス」の3つの支援活動を行っています。

(1) 電話問合せ

会員からの電話・FAX等による鉄道技術に関する様々な疑問、質問に対して、参考文献の送付や鉄道総研研究者の見解等を文章にまとめて回答するサービスです。

(平成8年度から実施、平成19年度末までに602件実施)

(2) 現地調査

中小鉄軌道事業者会員に対して、『鉄道総研の研究者』が現地を訪問して、技術的な調査を行うサービスです。

(平成14年度から実施、平成19年度末までに27件実施)

(3) 訪問アドバイス

中小鉄軌道事業者会員に対して、『レールアドバイザー』が現地を訪問して、助言を行うサービスです。

推進センターでは、深い知見と実務経験の豊富な鉄道技術者をレールアドバイザーとして登録しています。

(平成15年度から実施、平成19年度末までに33件実施)

②推進センター講演会

鉄軌道技術者の技術レベルの向上を図るため、毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市でレールアドバイザーと総研研究者による、推進センター講演会を開催しています。



推進センター講演会

③鉄道事業者との意見交換会

地域ブロック毎に、鉄道事業者の方々との意見交換会を開催し、技術的課題や推進センター活動等について情報交換を行っています。平成19年度は、東北、北陸信越、東海、中部、関西、四国、中国の7地域、計10回開催しました。

④鉄道技術教材『わかりやすい鉄道技術』

幅広く基礎的な鉄道技術を学べるよう、土木編、電気編、車両・運転編の3編を発刊しています。



わかりやすい鉄道技術

【技術支援実施例】

○平成19年度の主な「電話問合せ」の例

- (土木) コンクリート構造物の鉄筋腐食について
- (軌道) レール折損の原因について
- (車両) パンタグラフすり板の溶損原因について
- (車両) 車両の空転対策について
- (電力) 車庫内及び変電所構内における接地方法について
- (信号) 軌道回路の不具合について
- (防災) 緊急地震速報の活用について

○平成19年度の「現地調査」

- (土木) トンネル内路盤に関する調査
- (土木) 石積橋脚の劣化に関する調査
- (土木) コンクリート構造物の劣化に関する調査
- (車両) 車両の違いによる車両振動に関する調査
- (車両) 軌道車両の車輪偏摩耗に関する調査
- (車両) A T S 車上子の取り付けに関する調査
- (環境) トンネル微気圧波に関する調査



アドバイス状況

○平成19年度の「訪問アドバイス」

- (土木) 護岸壁の変状とその対策について
- (土木) 斜面災害の発生原因の推定と対策について
- (軌道) 軌道の保守管理について
- (車両) 車両の維持管理について
- (信号) 踏切設備の更新について
- (運転) 指導通信式による閉そく施行方法の改善について
- (運転) 運転取扱実施基準の作成について



アドバイス状況